



2007年度決算説明会

2008年5月8日

積水化成品工業株式会社
証券コード(4228)

2007年度決算概要

単位:百万円

| | 2006年度 実績 | 2007年度 | | 前期比 | 計画比 |
|-------|--------------|--------|--------|--------|-------|
| | | 修正計画 | 実績 | | |
| 売上高 | 94,896 | 99,500 | 98,561 | +3,664 | 939 |
| 営業利益 | 3,174 | 3,310 | 2,028 | 1,145 | 1,281 |
| 経常利益 | 2,924 | 3,050 | 1,463 | 1,461 | 1,587 |
| 当期純利益 | 1,868 | 1,670 | 712 | 1,156 | 957 |

汎用製品は原燃料価格高騰の転嫁遅れと、下期需要振るわず販売数量減少
高機能発泡製品は国内外で売上増も、海外拡販対応費用が増加
高機能材料は業界在庫調整や競争激化などの影響を受け売上伸びず
その他、法令対応による収益圧迫要因(固定資産除却・減価償却費)など

セグメント別業績概要 樹脂事業

単位: 百万円

| 樹脂事業 | 2006年度 | 2007年度 | | 前期比 | 計画比 |
|------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | 実績 | 修正計画 | 実績 | | |
| 売上高 | 37,579 | 41,100 | 41,006 | +3,427 | 94 |
| 営業利益 | 1,728 | 1,830 | 1,300 | 428 | 530 |

「エスレンビーズ」 水産需要低調で数量減、関連子会社の収益改善進まず
 「ピオセラン」 自動車部材・デジタル家電梱包材が国内外で拡販も、海外拡販対応費用が増加
 「テクポリマー」 業界在庫調整や競争激化の影響を受け売上前年並み

セグメント別業績概要 シート事業

単位: 百万円

| シート事業 | 2006年度 | 2007年度 | | 前期比 | 計画比 |
|-------|--------|--------|--------|------|-----|
| | 実績 | 修正計画 | 実績 | | |
| 売上高 | 42,589 | 43,700 | 43,173 | +584 | 526 |
| 営業利益 | 1,550 | 1,450 | 930 | 619 | 519 |

「エスレンシート」 食品・流通関連需要低調で数量減、原料値上げ転嫁遅れ
 関連子会社の収益が業界競争激化により大幅に悪化

「ライトロン」など、デジタル家電の完成品・部品搬送用緩衝材が伸びる

セグメント別業績概要 建材事業・その他事業

単位: 百万円

| 建材事業 | 2006年度 実績 | 2007年度 | | 前期比 | 計画比 |
|------|--------------|--------|-------|-----|-----|
| | | 修正計画 | 実績 | | |
| 売上高 | 9,992 | 10,000 | 9,732 | 260 | 268 |
| 営業利益 | 202 | 30 | 220 | 17 | 190 |

建材分野は人員合理化による固定費減も、建築基準法改正の影響を受け売上減少
土木分野は「EPS土木工法」が堅調に推移

| その他事業 | 2006年度 実績 | 2007年度 | | 前期比 | 計画比 |
|-------|--------------|--------|-------|-----|-----|
| | | 修正計画 | 実績 | | |
| 売上高 | 4,734 | 4,700 | 4,648 | 86 | 51 |
| 営業利益 | 99 | 60 | 11 | 88 | 48 |

貸借対照表の概要

連結貸借対照表

単位:百万円

| | 2007/3 | 2008/3 | 増減 |
|-------------|--------|--------|-------|
| 資産合計 | 94,869 | 91,342 | 3,526 |
| 現金及び預金 | 6,328 | 5,689 | 639 |
| 受取手形及び売掛金 | 25,272 | 24,199 | 1,072 |
| たな卸資産 | 8,183 | 8,262 | +79 |
| 有形固定資産 | 39,101 | 39,597 | +496 |
| 投資有価証券 | 11,665 | 8,230 | 3,434 |
| 繰延税金資産 | 1,337 | 2,135 | +798 |
| その他 | 2,983 | 3,230 | +247 |

| | 2007/3 | 2008/3 | 増減 |
|--------------|--------|--------|-------|
| 負債合計 | 46,682 | 45,791 | 890 |
| 支払手形及び買掛金 | 16,840 | 16,021 | 819 |
| 有利子負債 | 11,298 | 12,196 | +898 |
| 退職給付引当金 | 3,644 | 3,021 | 622 |
| その他 | 14,900 | 14,553 | 347 |
| 純資産合計 | 48,186 | 45,551 | 2,635 |
| 株主資本 | 42,778 | 42,394 | 384 |
| 評価・換算差額等 | 4,602 | 2,258 | 2,344 |
| 少数株主持分 | 806 | 899 | +93 |

「投資有価証券」「評価・換算差額等」: 保有株式の含み益が減少

「受取手形及び売掛金」「支払手形及び買掛金」: 前年度期末休日の関係等で減少

キャッシュ・フロー計算書、設備投資の概要

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| | 2006年度 | 2007年度 | 増減 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,210 | 4,099 | 4,111 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 5,397 | 4,827 | +569 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,120 | 210 | +1,910 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,089 | 5,523 | 566 |

設備投資の状況

単位:百万円

| | 2006年度 | 2007年度 |
|-------|--------|--------|
| 設備投資 | 4,293 | 4,281 |
| 減価償却費 | 3,720 | 4,050 |

< 主な設備投資 >

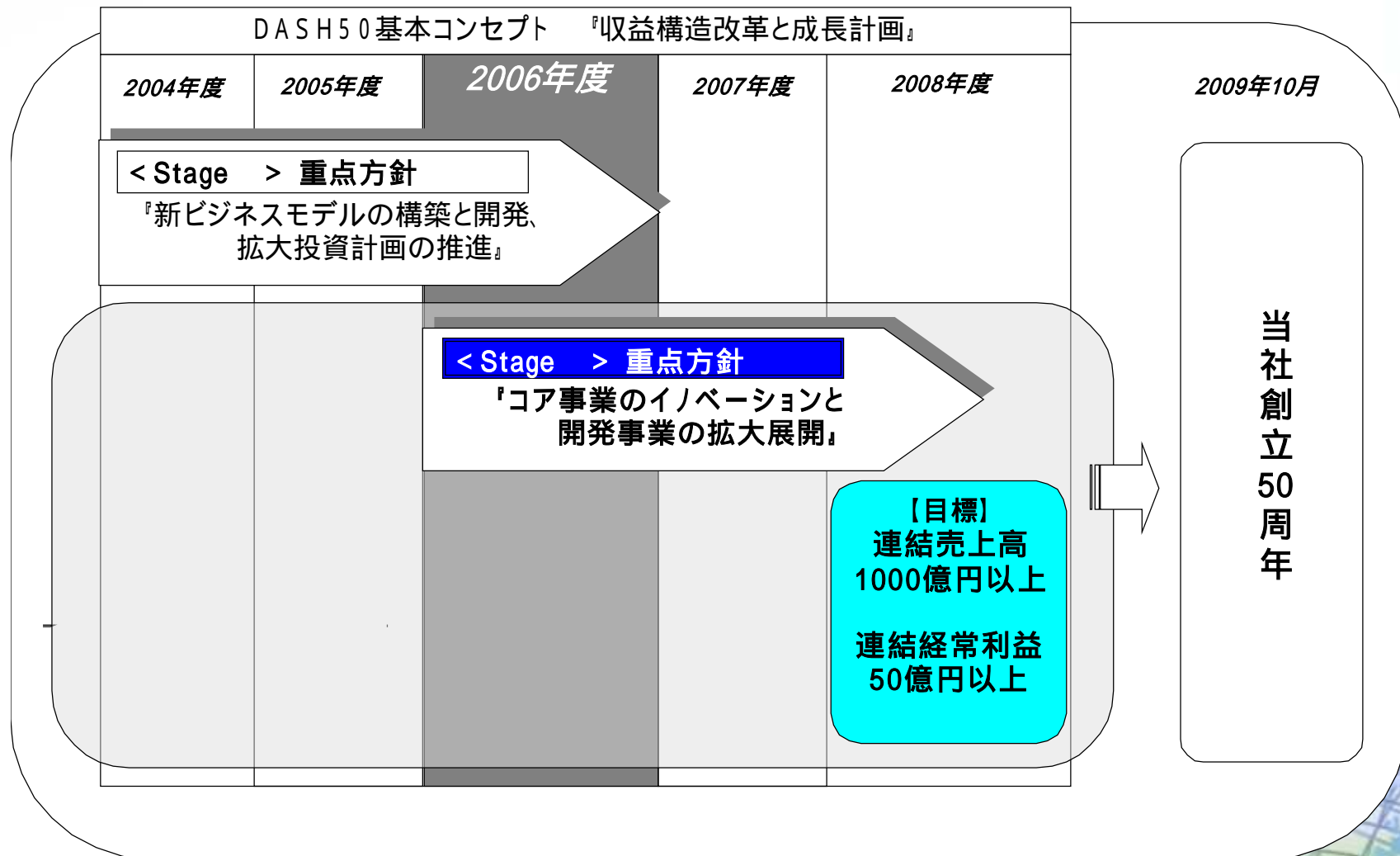
- ・テクポリマー設備増強
- ・ピオセラン欧州工場土地 など

< 減価償却費 >

- ・税法改正による償却増 1.7億円

中期経営計画
「DASH50 Stage」
(2006～2008年度)
進捗状況と最終年度目標

【DASH50 Stage】基本コンセプト



【DASH50 Stage】重点課題

DASH 50 Stage

<コンセプト> 収益構造改革と成長計画
～コア事業のイノベーションと開発事業の拡大展開～

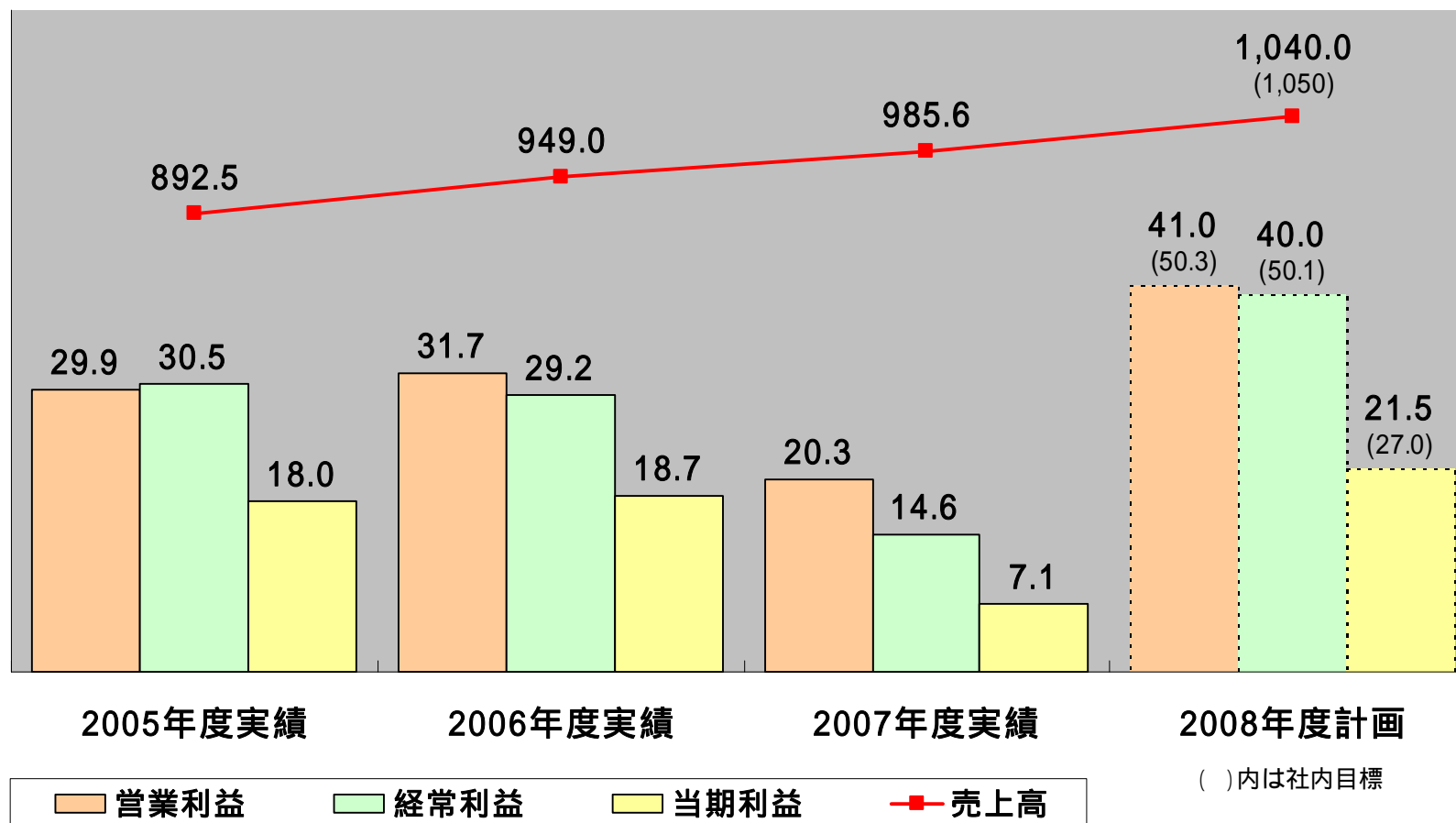
【重点課題】

1. 発泡プラスチック事業のイノベーション
既存事業の事業力強化
高機能発泡材料の事業拡大
環境対応事業の拡大
2. 高機能材料事業の拡大
テクポリマー・テクノゲルの事業拡大
3. 新事業の育成と立ち上げ

【DASH50 Stage】2008年度収益計画

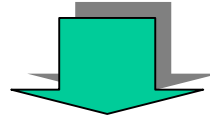
【2008年度施策を着実に実行し、早期に成長軌道に復帰】

単位：億円



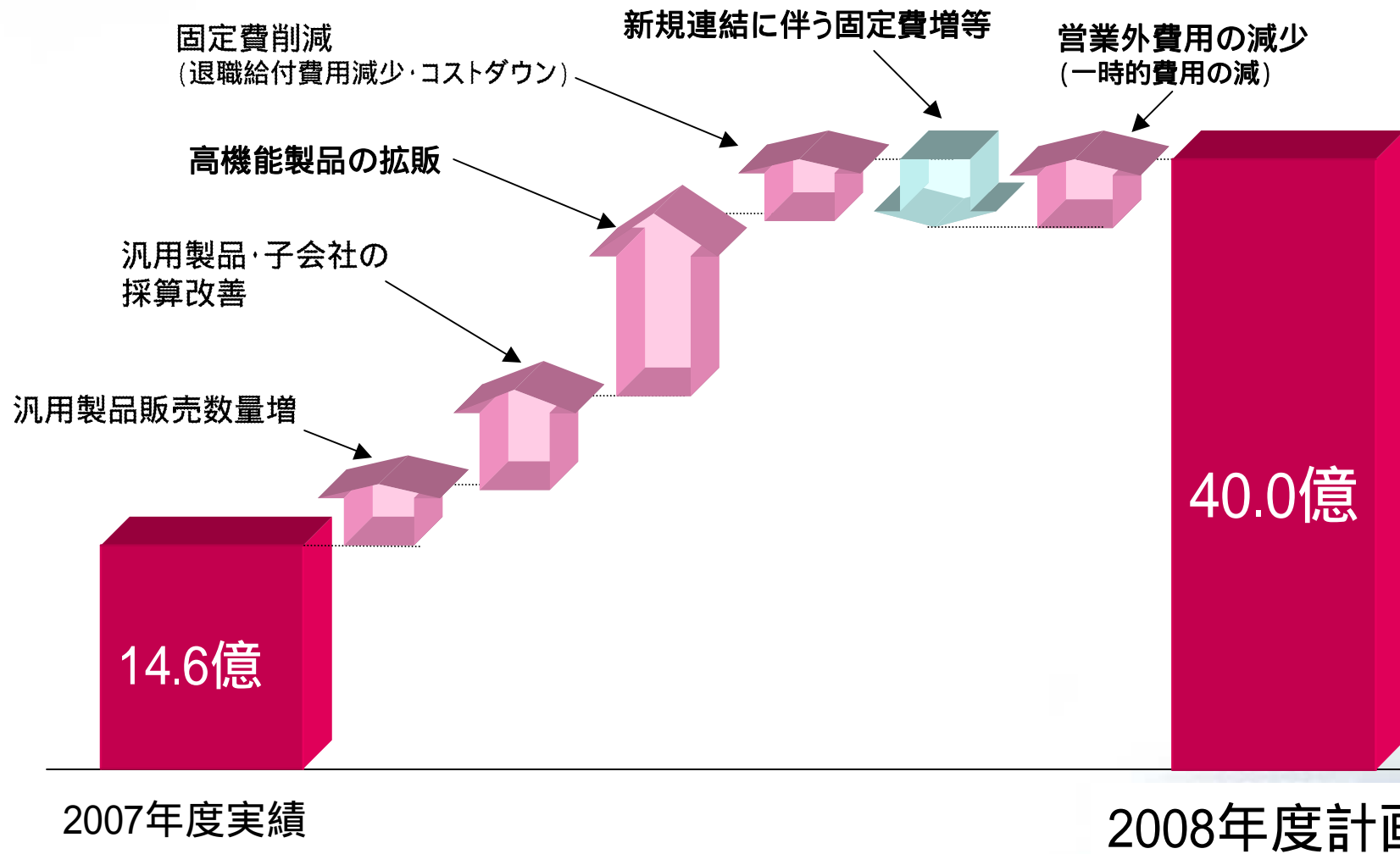
【DASH50 Stage】2008年度の施策

施策の実践スピードアップにより、成長軌道復帰に注力



- ・既存製品における不採算事業・子会社の早急な採算改善
(省エネ・製品価格改定・低採算品撤退・固定費削減...)
- ・高機能発泡製品におけるグローバル拡販加速と生産プロセス革新
によるトータルコスト削減
- ・高機能材料における新分野・新市場での拡販とM & A効果発現

【DASH50 Stage】08年度經常利益増減要因

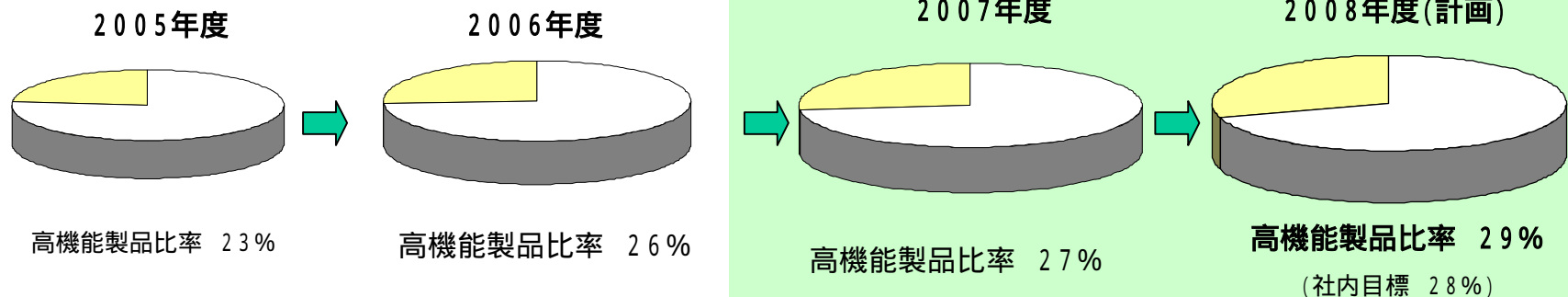


【DASH50 Stage】事業ポートフォリオ変革

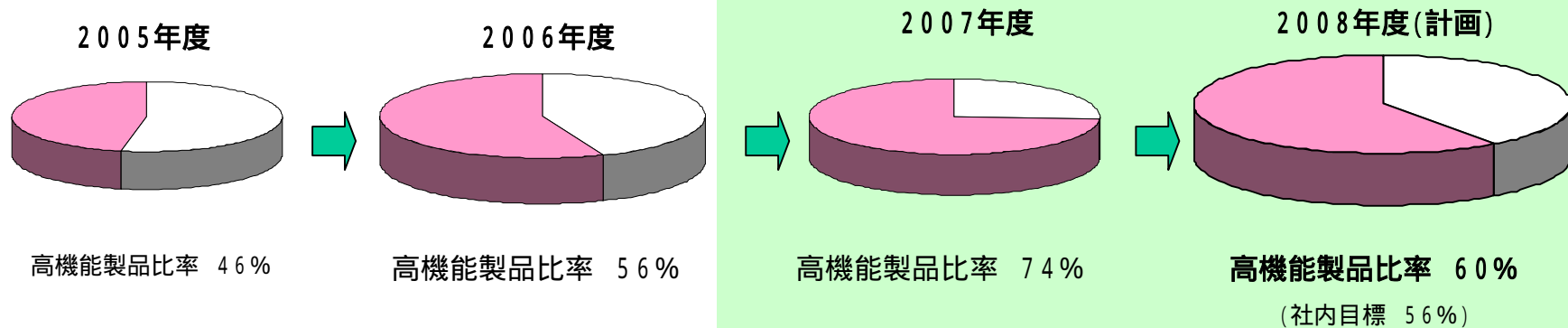
高機能製品の成長による事業ポートフォリオ変革

...成長市場と海外拡販で高機能製品の比率向上

売上高



営業利益



2008年度営業利益...既存製品は限界利益を2006年度ベースに回復 + 固定費削減
高機能製品は拡販による増益

【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

事業環境に左右されない収益構造の確立

・原燃料価格上昇に対する製品価格への的確な対応
・生産部門のコスト競争力強化

【樹脂事業】

- ・低採算子会社の早急な採算改善
(省エネ・コストダウン・価格改定の徹底推進)
- ・EPSカップ向け減も業界再編効果で増販

【シート事業】

- ・採算悪化子会社の早急な構造改革
(不採算商品からの撤退、固定費の圧縮)
- ・PSP軽量化ニーズ対応強化による増販
- ・薄型テレビパネル搬送用保護シートの拡販

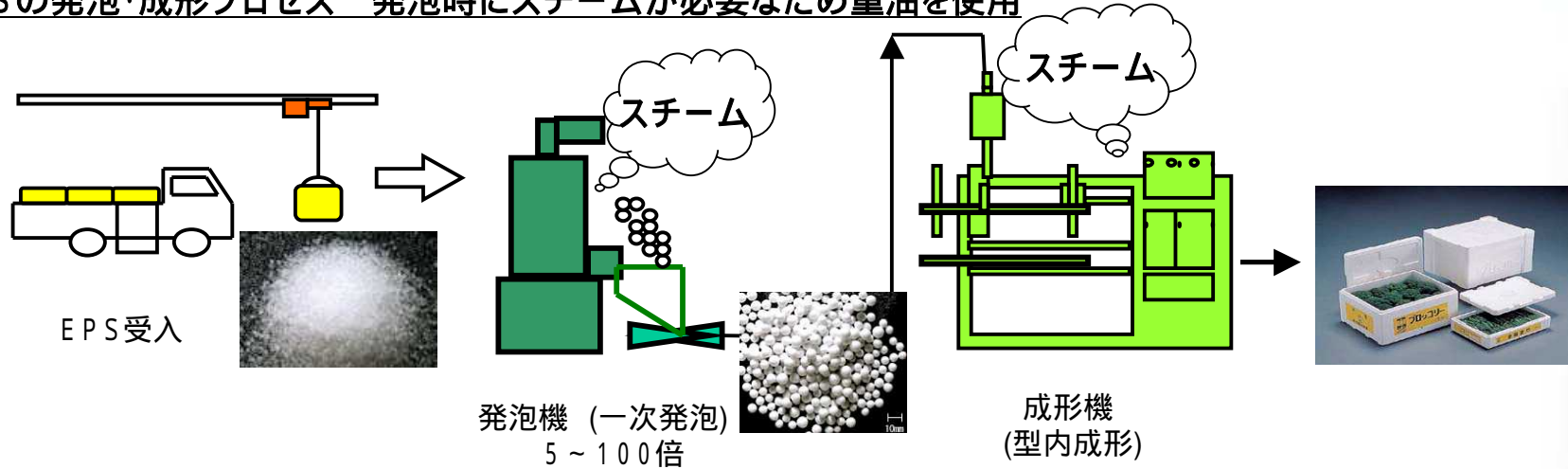
【建材事業】

- ・人員合理化による建材不採算品からの撤退
- ・成形子会社リニューアルによる固定費削減

【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

子会社の省エネ徹底推進

EPSの発泡・成形プロセス 発泡時にスチームが必要なため重油を使用



<グループ総力をあげた省エネの取り組み>

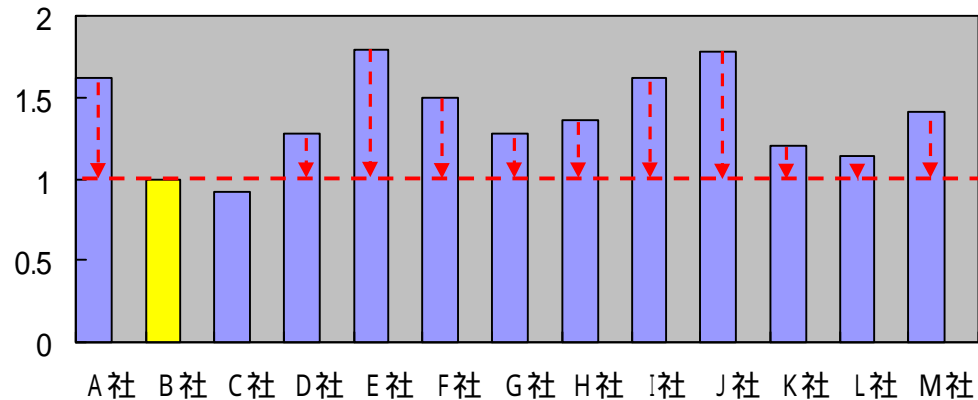
...重点項目の統一化と徹底取り組み

- ・配管・金型の徹底した蒸気漏れ対策
- ・ボイラー・成形機の圧力ダウン
- ・成形工程の見直し 等

...ベンチマーク(B社)を目標に重油原単位削減推進

2008年度1.5億円削減目標

EPS成形子会社別重油原単位 (2007年度下期実績 B社を1とする)



【DASH50 Stage】セグメント計画・設備投資計画

単位:億円

| | | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 |
|-------|------|--------|--------|--------|
| 樹脂事業 | 売上高 | 375.8 | 410.1 | 456.0 |
| | 営業利益 | 17.3 | 13.0 | 24.0 |
| シート事業 | 売上高 | 425.9 | 431.7 | 447.0 |
| | 営業利益 | 15.5 | 9.3 | 16.0 |
| 建材事業 | 売上高 | 99.9 | 97.3 | 91.0 |
| | 営業利益 | 2.0 | 2.2 | 0.4 |
| その他事業 | 売上高 | 47.3 | 46.5 | 46.0 |
| | 営業利益 | 1.0 | 0.1 | 0.6 |

単位:億円

| | 2007年度 | 2008年度 |
|-------|--------|--------|
| 設備投資 | 42.8 | 50.3 |
| 減価償却費 | 40.5 | 40.6 |

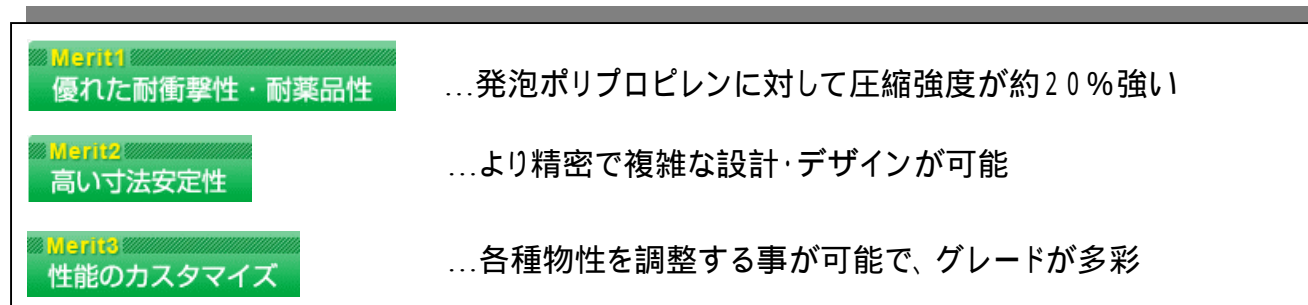
< 主な設備投資 >
 ・ピオセラン欧州工場建設 など
 (即効性ある投資以外は抑制)

< 減価償却費 >
 今期設備投資は期末完工多く
 減価償却費横ばい

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

ピオセラン

...ポリスチレンとポリオレフィンを組み合わせた当社独自の複合樹脂発泡品

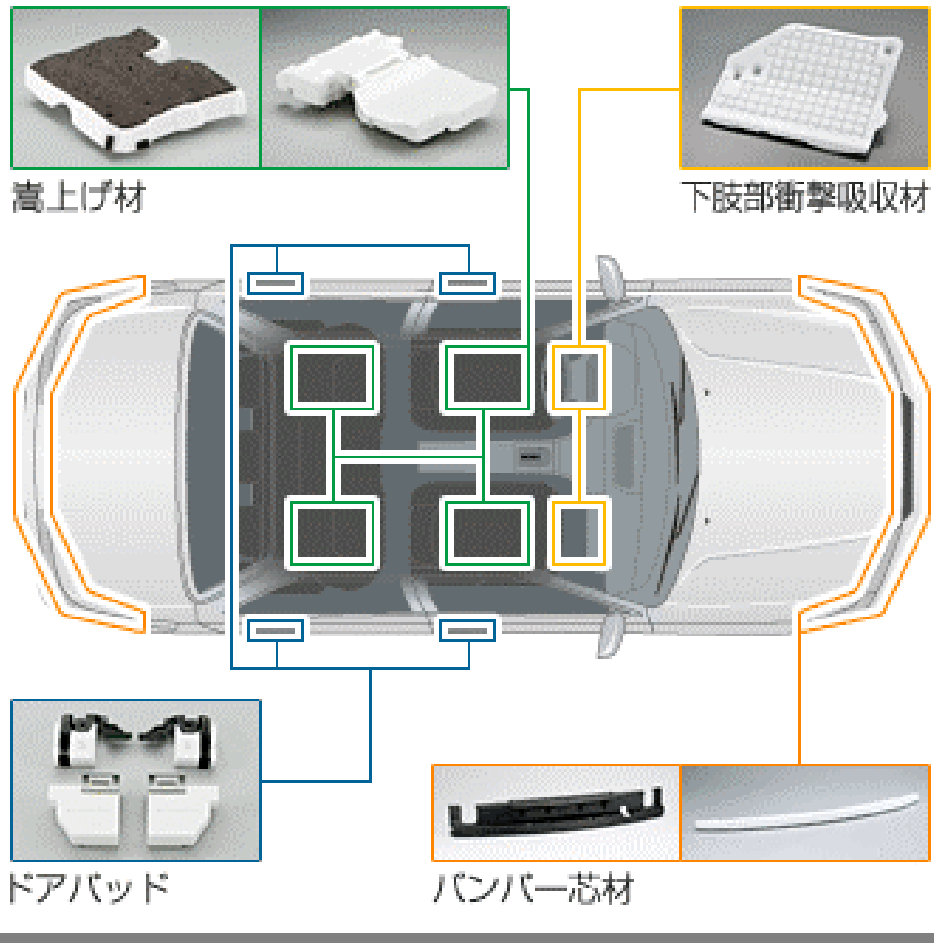


自動車部材

デジタル家電緩衝材

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

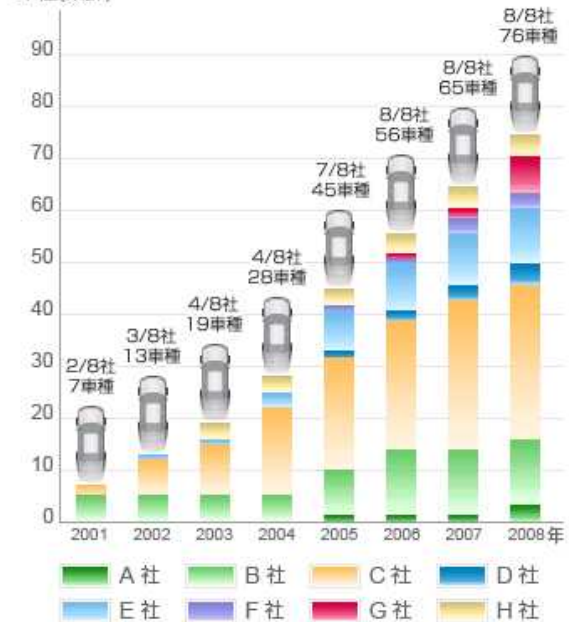
自動車部材



採用件数

For Automobile

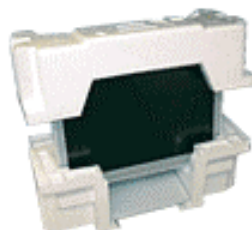
車種(累計)



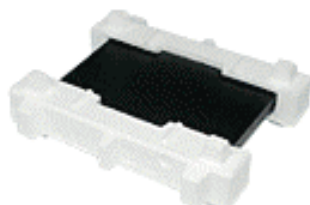
国内乗用車メーカー全8社
でピオセランの部材採用

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

デジタル家電緩衝材



液晶テレビ用緩衝包装材



ノートパソコン用緩衝包装材



液晶モジュール搬送用 BOX
(50 インチ)



5.5 世代対応大型ガラス
搬送用容器



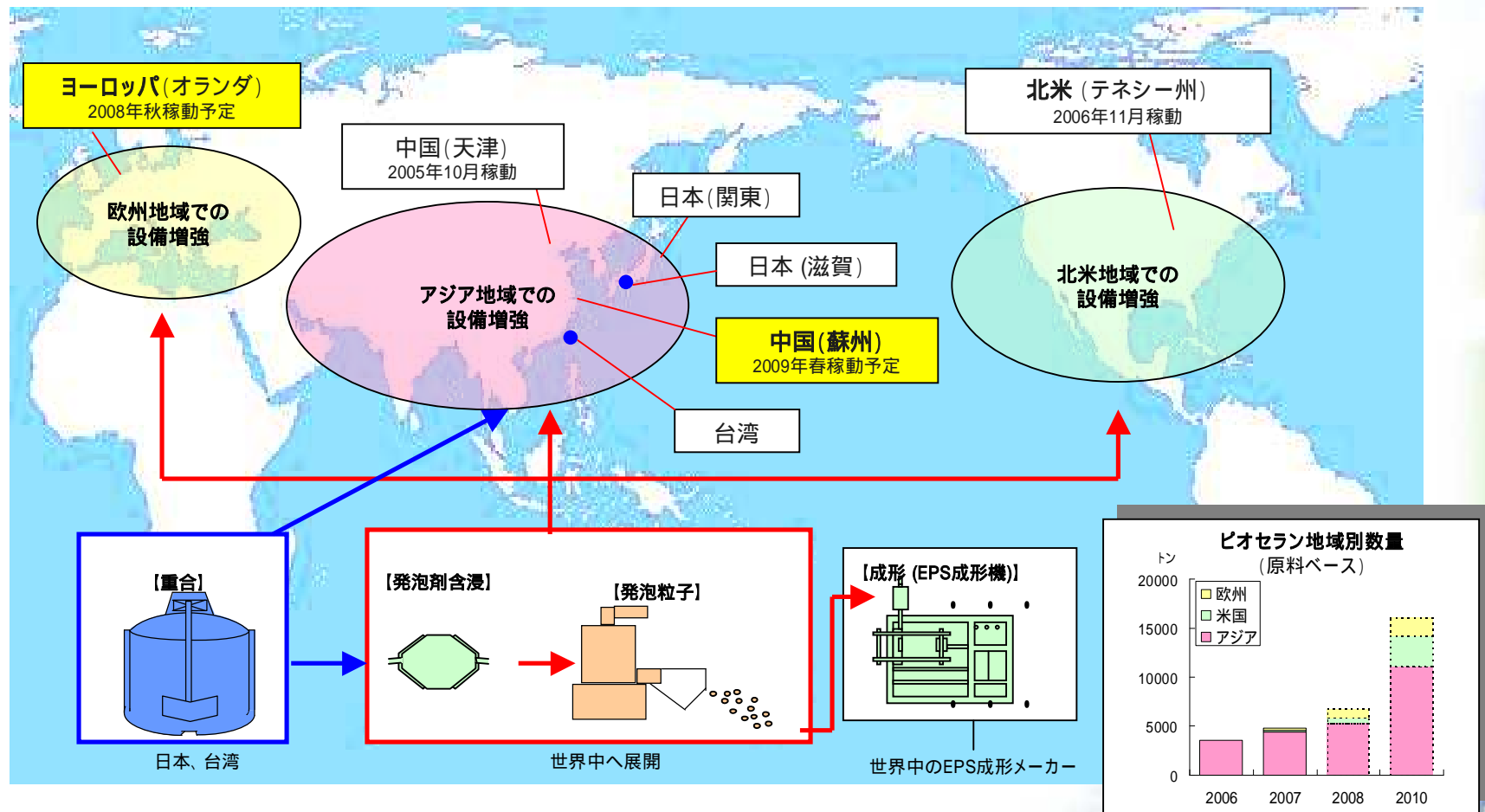
液晶パネル業界再編により、パネル輸送容器需要が急拡大の見込み



年々大型化する薄型テレビに対応した大型成形機

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

バイオセラン供給拠点の構築を加速 (2010年度 年産1万6千トン体制目指す 自動車・IT関連メーカー)



【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大



【2007年度の成果】

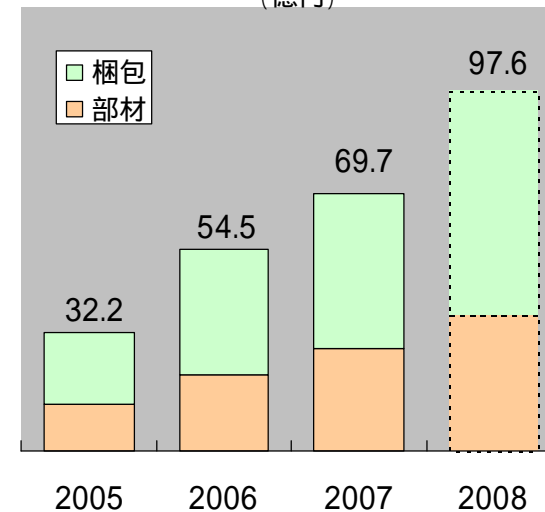
日系デジタル家電メーカーの薄型テレビ完成品梱包材採用で世界供給開始
物流費が大幅に増加
薄型テレビパネル搬送容器が大幅に増加、ガラス搬送容器は進捗遅れ
自動車部材は日系自動車メーカー向けに国内外で着実に採用増加



【2008年度の取り組み】

需要に対応したグローバル生産販売体制構築の加速
生産：欧州・中国蘇州工場の早期立ち上げ
販売：韓国・台湾で販社設立、早期拡販
北米での開発営業力強化
シャープ堺工場に対応した成形工場建設推進
生産プロセス革新によるトータルコストダウンの実現(物流費の大幅削減)
高機能化の開発推進

ピオセラン売上高
(億円)



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクポリマー

当社独自の重合技術から生まれた有機微粒子ポリマー



塗料用途
(艶消し効果)

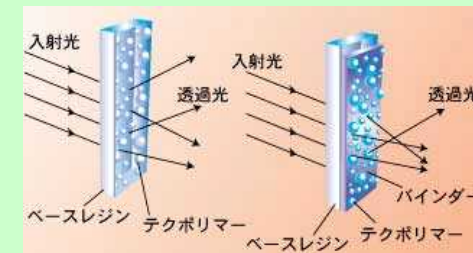


化粧品用途
(しわ隠し、滑り性、触感改良)



光拡散用途

パソコンやテレビの液晶ディスプレイ、リアプロジェクションテレビのスクリーンに使用。球状粒子の持つ、均一な光拡散効果でディスプレイ全体を明るくしたり、ディスプレイを見やすくしたりするのに役立っています。

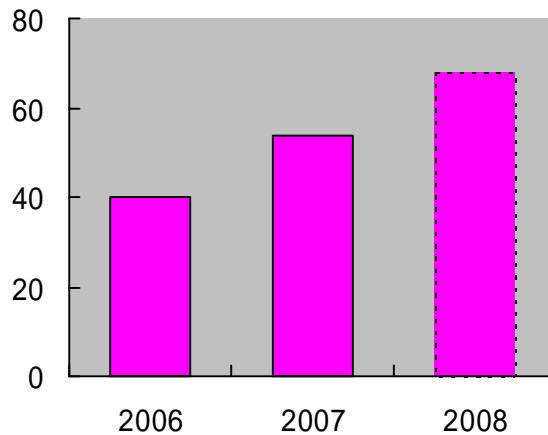


【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

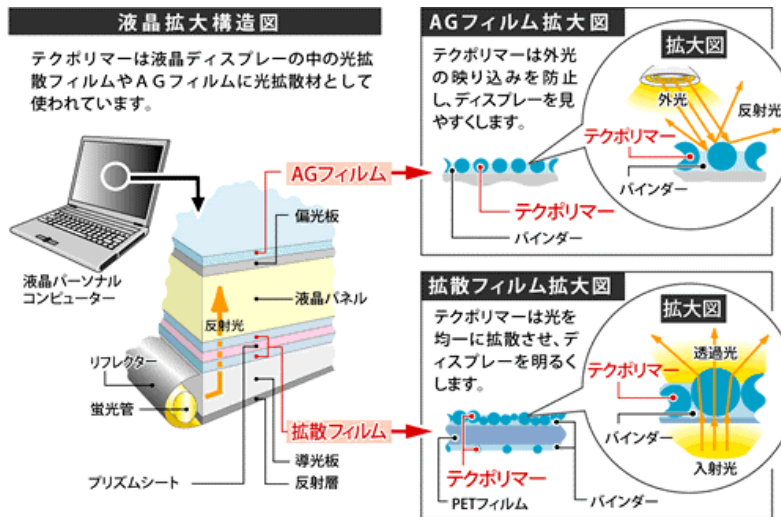
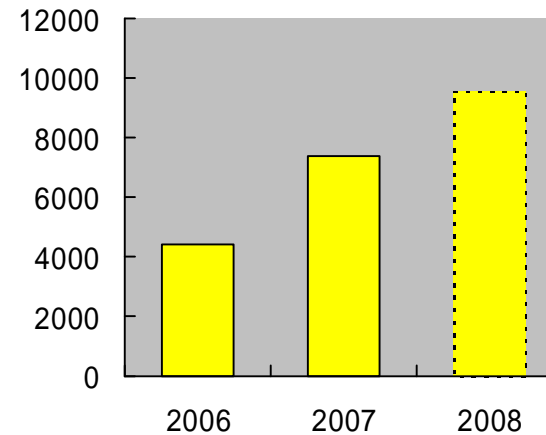
世界市場環境予測

出所:富士キメラ総研

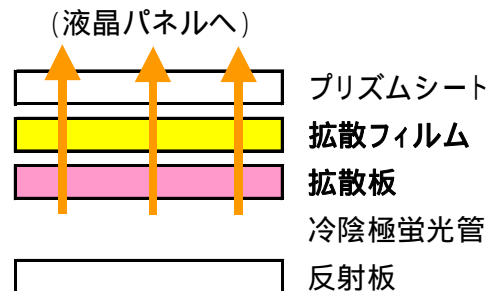
百万㎡ 液晶パネル(面積ベース)



万台 液晶テレビ台数



液晶テレビ バックライトユニットの基本構成



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

【2007年度の成果】

液晶向けは、在庫調整や部材複合化、業界競争激化の影響を受け伸び悩み
リアプロ向けは、ほぼ需要終息



【2008年度の取り組み】

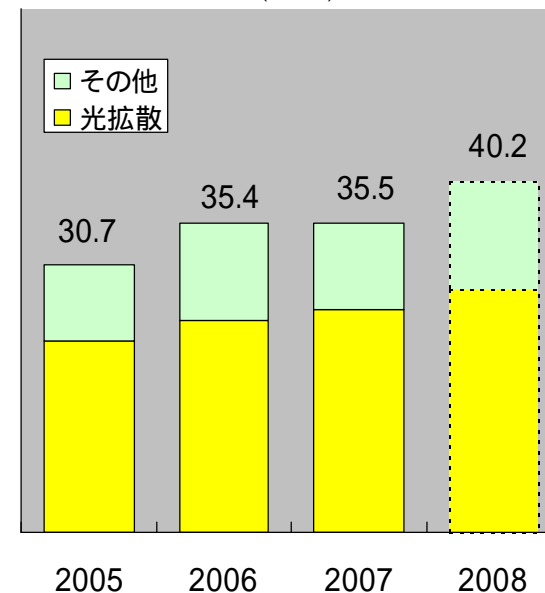
液晶分野の伸長需要をキャッチアップした
拡販継続と、部材複合化に対応した新規採用の推進

塗料分野の自動車内装向けを国内外で
拡販

新規分野の開拓と実績化

顧客要求に対応した品質の向上と現有設備での生産能力・効率アップ

テクポリマー売上高
(億円)



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクノゲル

当社独自技術による導電性ハイドロゲル

低周波治療器用パッド



心電図用電極



各種パック材



電気メス用対極板



美容機器用パッド



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

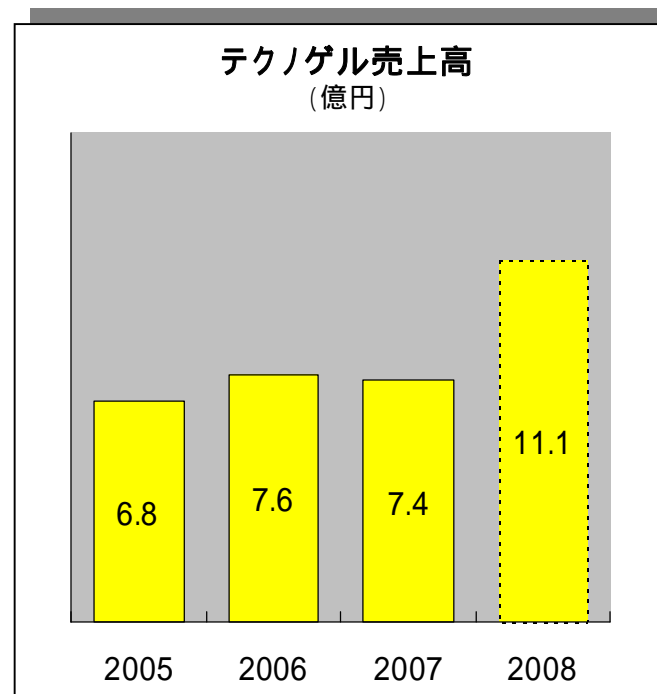
【2007年度の成果】

ヘルスケア・化粧品用パック材用途
の需要が伸びず売上やや減少
日東電工ハイドロゲル事業を譲受
(投資額約2億円、2008/4譲受)



【2008年度の取り組み】

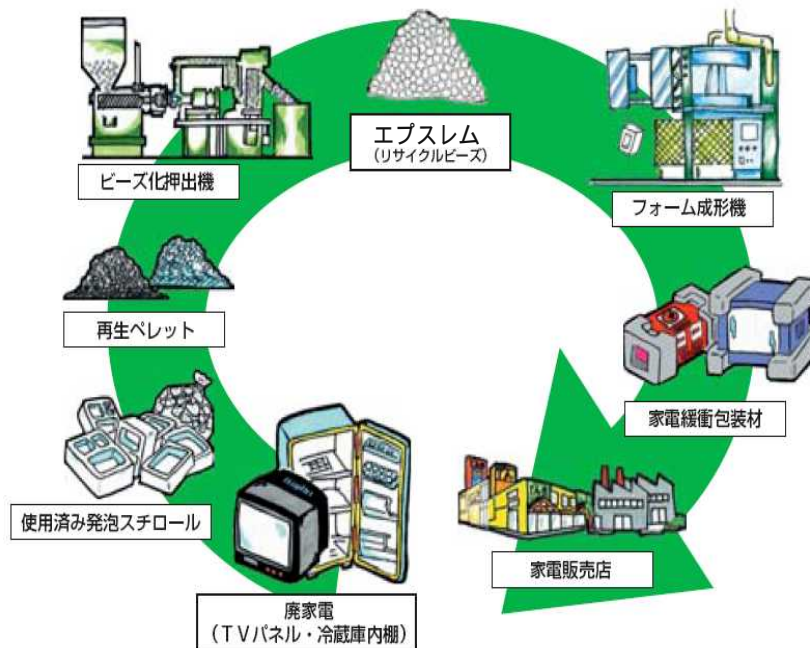
日東電工商権の確実な承継と
シナジー効果による拡販推進
ゲルシートの増販促進



【DASH50 Stage】環境対応事業の拡大

エプスレム

廃家電樹脂等を利用したリサイクルビーズ



【2007年度の成果】

シャープの大型液晶テレビ梱包材
が引き続き順調



【2008年度の取り組み】

新規顧客の開拓促進 (冷蔵庫・
エアコン・パソコン等)
日系家電メーカーの海外拠点への
対応検討

【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ

植物由来樹脂発泡体

ポリ乳酸樹脂 (PLA)

トウモロコシなどの植物から製造される樹脂(カーボンニュートラル性を有する環境負荷が低い材料)

【ポリ乳酸樹脂 (PLA) の特性】

... 環境適性・耐溶剤性・耐候性
× ... 耐熱性(通常60)

加熱寸法安定性が低く、ビーズ法発泡体として実用化困難

加熱寸法安定性を高めるためには結晶化度を高める必要がある

結晶化度を高めると成型加工が困難



当社独自開発の製造プロセスにより、結晶化度を成型加工中に低く抑制し、最終製品では結晶化度を高くする技術を開発

世界で初めて150 の加熱寸法安定性を有するビーズ法 PLA発泡体を開発

【特長】

加熱寸法安定性に優れる: EPSやEPPより優れた加熱寸法安定性

優れた成型性: 省エネ成型可能(低温成型85~90)
3D形状の成型可能

耐油性・耐候性に優れる: PLAが本来持つ特性を保持
着色が容易: 鮮やかなカラービーズが得られる、成形品へのペイント処理も容易
VOCが発生しない

【2007年度の成果】

商品開発プロジェクトチームで用途探索
特に自動車部材・高級食材用意匠箱等で有望

【2008年度の取り組み】

事業化に向けた取り組み(顧客要望を明確化し、商品用途を具現化する)



【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ

光学用反射板

当社の高機能樹脂発泡シートをさらに進化させ、光学用途に対応
＜素材＞発泡層を有する無延伸PP系積層シート

【特長】

高反射率:全反射率98%以上(うち98%以上が拡散成分) 光ムラの低減に貢献

高剛性:高いハンドリング性を有する 組み立て時の作業性向上に貢献

熱成形性:熱成形により形状付与が可能

【熱成形のメリット】

バックライトユニットや光源に合わせた光学設計の自由度が向上

適切な成形により光源の反射効率をアップさせることが可能(明るさアップ・光源数低減・光ムラの低減)

成形により設置剛性がアップ

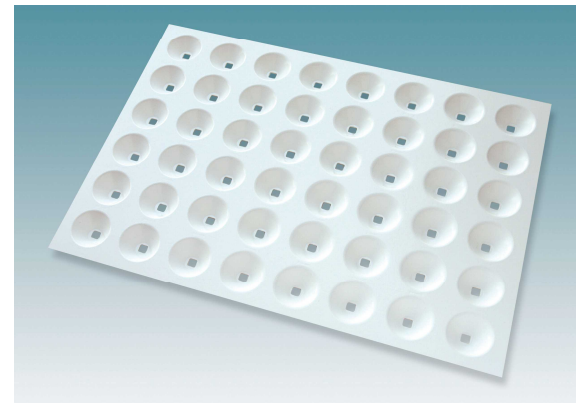
【2007年度の成果】

ユーザー探索(FPD展2007出展)

熱成形による形状付与に関心集中

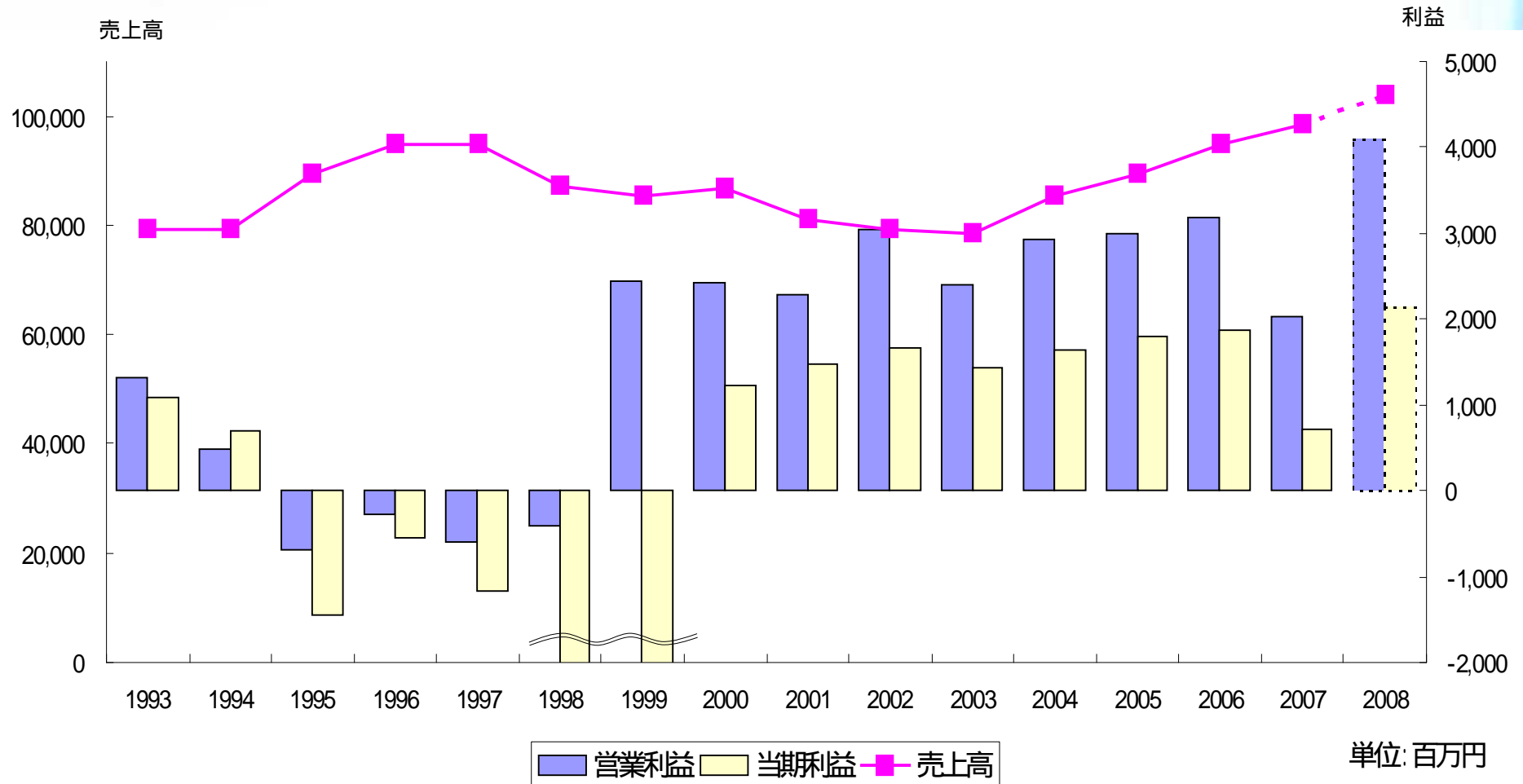
【2008年度の取り組み】

大型液晶テレビ用バックライト反射板、電飾看板用反射板において、LED向けを中心に事業化推進



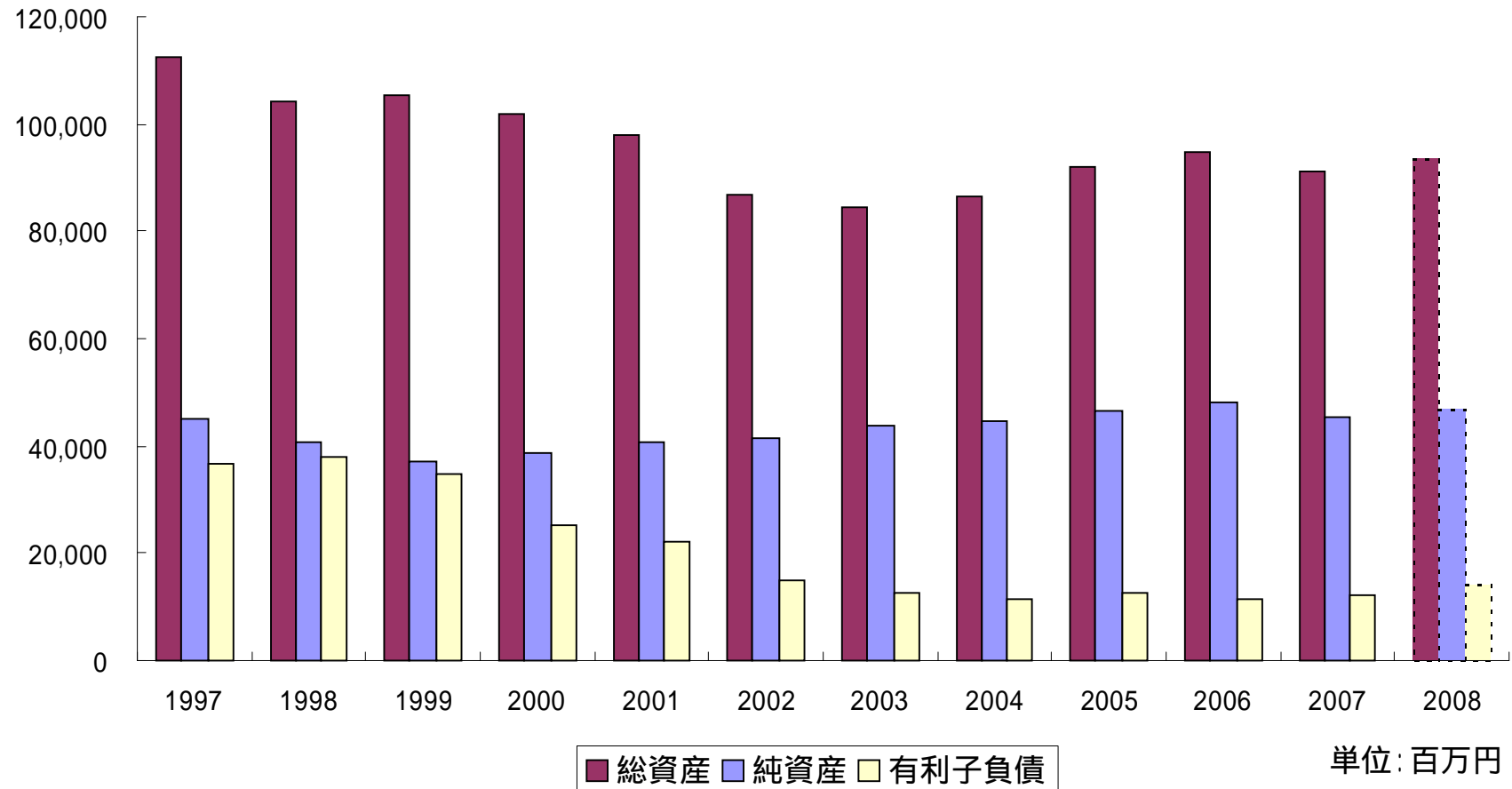
参考資料

【参考資料】 連結経営成績推移



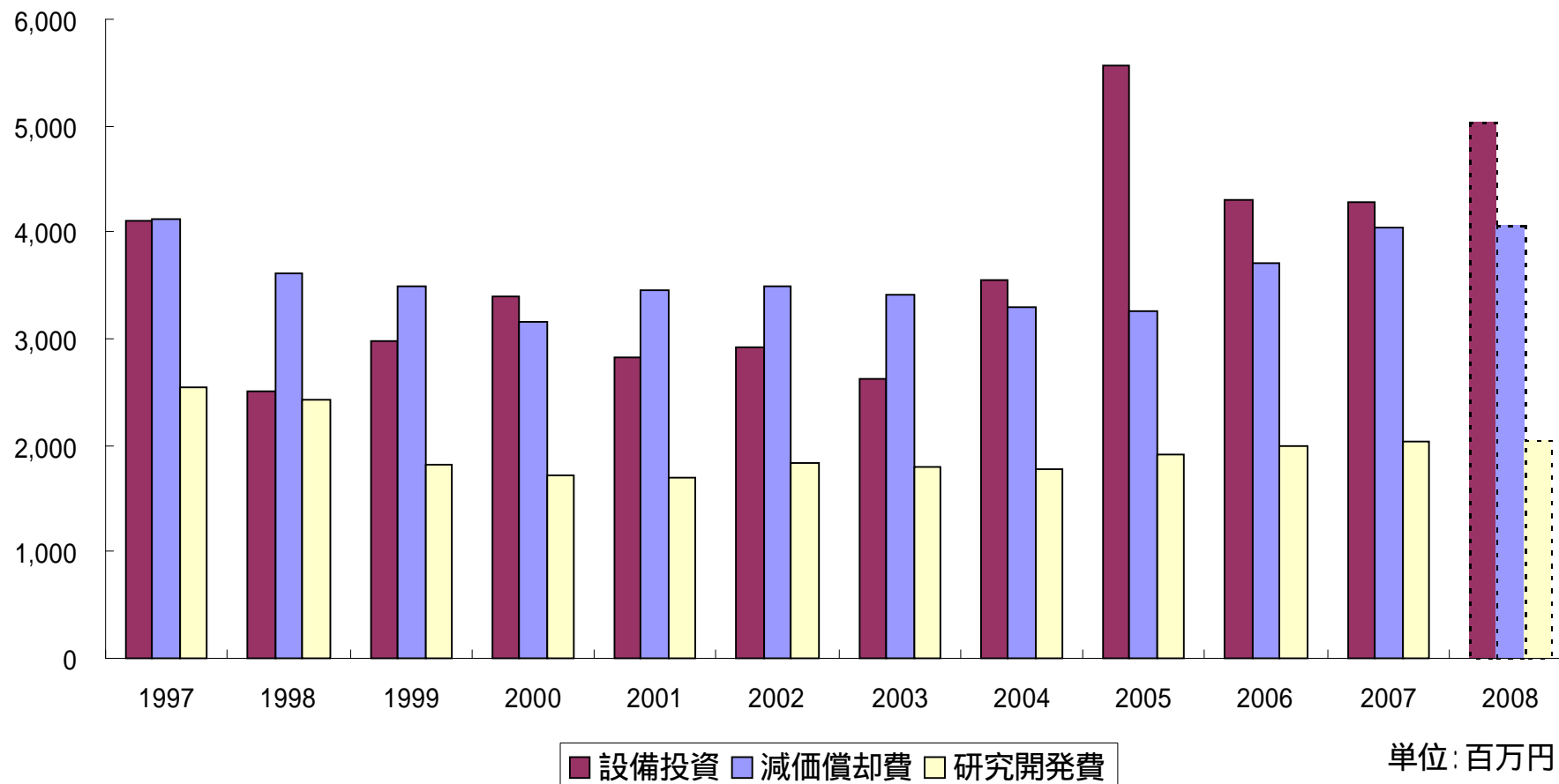
| | 1993 | 1994 | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 売上高 | 79,252 | 79,155 | 89,501 | 94,827 | 94,830 | 87,244 | 85,228 | 86,781 | 81,020 | 79,423 | 78,448 | 85,244 | 89,254 | 94,896 | 98,561 | (104,000) |
| 営業利益 | 1,312 | 489 | -693 | -284 | -584 | -416 | 2,435 | 2,431 | 2,281 | 3,042 | 2,401 | 2,922 | 2,992 | 3,174 | 2,028 | (4,100) |
| 当期利益 | 1,086 | 696 | -1,442 | -549 | -1,174 | -4,191 | -6,101 | 1,232 | 1,477 | 1,667 | 1,426 | 1,634 | 1,801 | 1,868 | 712 | (2,150) |

【参考資料】 連結財政状態推移



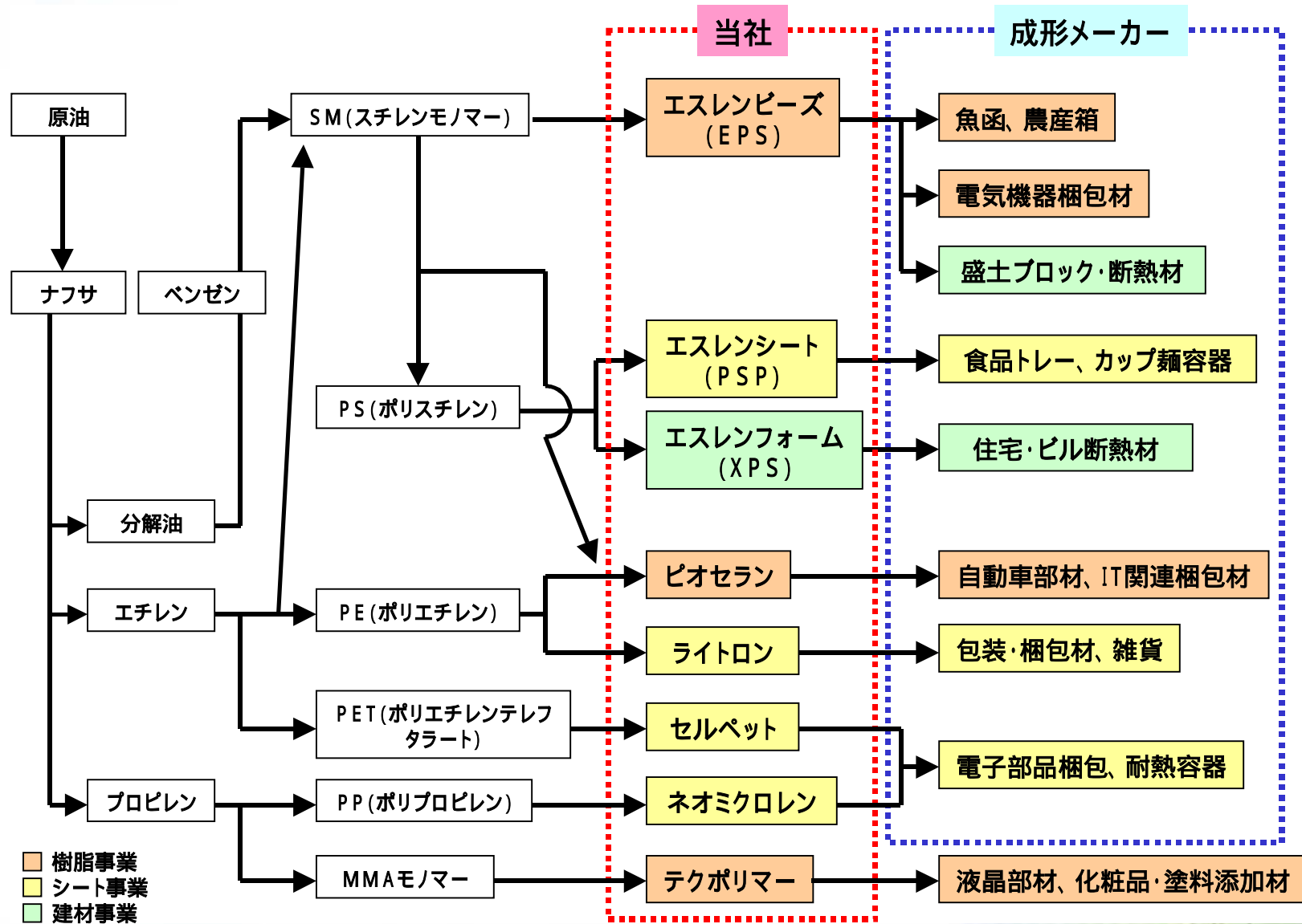
| | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 |
|-------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 総資産 | 112,500 | 104,155 | 105,558 | 101,994 | 97,935 | 86,963 | 84,488 | 86,641 | 91,900 | 94,869 | 91,328 | (93,700) |
| 純資産 | 44,975 | 40,784 | 36,984 | 38,572 | 40,822 | 41,338 | 43,742 | 44,514 | 46,437 | 48,186 | 45,551 | (47,100) |
| 有利子負債 | 36,584 | 37,778 | 34,616 | 25,450 | 22,189 | 14,974 | 12,445 | 11,597 | 12,441 | 11,298 | 12,196 | (14,300) |

【参考資料】 設備投資・減価償却費・研究開発費推移



| | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 設備投資 | 4,108 | 2,505 | 2,989 | 3,401 | 2,828 | 2,924 | 2,617 | 3,551 | 5,568 | 4,293 | 4,281 | (5,030) |
| 減価償却費 | 4,128 | 3,610 | 3,497 | 3,161 | 3,456 | 3,495 | 3,422 | 3,296 | 3,250 | 3,720 | 4,050 | (4,060) |
| 研究開発費 | 2,537 | 2,427 | 1,810 | 1,724 | 1,706 | 1,827 | 1,791 | 1,770 | 1,914 | 1,998 | 2,034 | (2,050) |

【参考資料】 当社の主要製品と用途



内容に関するお問合せは...

経営企画部(IR) (03)3347-9618 までお願いいたします。

当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

本資料に記載されている見込、計画、見通しなど将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。